



その人らしい生き方を支えるために ～人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）～

あなたは終活してますか？
あなたの大切な人はどうですか？



この頃よく耳にする終活

生まれたことにより、死は避けられないことです。
いつかは誰にでも死が訪れます。
死が訪れるまでの間を、悔いのない自分らしい生活を送り人生を
全うすること。そして死に対して、真正面から積極的に向き合う
ことは、大切だと思いませんか？

人生の最期の時間を自分らしく過ごすために、生前から用意して
おくことが、自分にとっても家族にとっても大切なことです。
しかし、最期の時間と言っても人により終末の時期や時間に違いが
あります。できるうちに考えておくことにより、やらなくてはなら
ない作業を整理することもできます。

だからこそ、今、考えてみませんか？
それが、人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）の
考え方なのです。

最期のその時まで、その人らしく生活していけるよう
みんなで支えていきたいですね。



緩和ケア認定看護師 新宮久子

当院の集中治療室のご紹介

当院の集中治療室（HCU）は、患者さんは4人まで入室
できるようになっています。入室される患者さんの多くが
全身麻酔で手術をされた方で、術後の状態が安定されるま
で経過をみています。その他には、呼吸不全で人工呼吸器
を装着される方や腎機能障害で持続透析を行っている方、
救急外来から重症な患者さんなどが入院します。

一般的なHCUでは、患者さん4名に看護師1人以上配置
することになっています。しかし当院では、看護師1人が
患者さん1～2名を受け持ち、患者さんのそばで細かく観察
を行い、必要な看護がすぐにできるような体制を取って
います。様々な病気を抱えた患者さんの病態を理解するた
めに勉強したり、急変時にスムーズに対応できるように訓練
したりしています。そして、看護部の理念でもある『温か
みのある個別的な看護が提供できる』よう患者さんに気を
配っています。

患者さんが安心して安全に過ごされ、回復されて病棟に
移動できるように他の職種の方々とも協働しています。

私は集中ケア認定看護師として、集中治療室で働きなが
ら、より質の高い看護が提供できるよう病棟や集中治療室
で働く看護師への支援を行っています。



集中ケア認定看護師 水田麻美